



杉並区 スポーツを通して子どもの夢を育みます

27. 1. 17
杉並区広報課

朝日健太郎さんなどオリンピックが直接指導！

1月17日、区立上井草スポーツセンターでは、夢を持ってチャレンジする子どもを育成する「チャレンジ・アスリート」が開催されました。この日は、ビーチバレーボールでオリンピック出場経験を持つ朝日健太郎さんやバドミントンの大東忠司（おおつかただし）さん、陸上の堀籠佳宏（ほりごめよしひろ）さんを講師に迎え、小学5年生から中学3年生の30人が、直接指導を受けました。子どもたちはトップアスリートの技術に触れるとともに、普段やっていない種目や様々なスポーツに共通する体の使い方を学びました。

「チャレンジ・アスリート」は、2020年東京オリンピック・パラリンピックの開催が決定したことから、「夢に向かって自らの意思でスポーツを選びチャレンジする子ども」を育成するため、杉並区教育委員会が企画したものです。朝日健太郎さんには企画段階からトップアスリートの立場から参画いただき、この講座の校長も務めていただきました。

17日、上井草スポーツセンターは、30人の子どもたちが集まりました。この事業の最初のプログラムは、オリンピック3人による「オリンピックズトーク」です。オリンピック選手になるまでの道のりや試合前のルーティンワークなど、ふだん聞けないお話を聞きました。その後の実技指導では、バレーボール、バドミントン、陸上競技それぞれ、トップアスリートの技術を目の当たりにし、やっていない種目も含めて体験するとともに、様々なスポーツに共通する体の使い方を学びました。



午前10時、まずは朝日さん（2008北京・2012ロンドンオリンピック出場）の指導により、バレーの練習が始まりました。参加者は、ボールを使った基本練習や、ジャンプ力のアップの秘訣などを学びました。大東さん（2008北京・2004アテネオリンピック出場）のバドミントン教室は、トップ選手のバドミントンのスピード感を体験した後、それぞれのレベルに合わせて丁寧な指導を受けました。朝日さんは、「子どもたちは、経験しことのないスポーツを体験してもらいましたが、挑戦することの素晴らしさ、仲間の大切さを知ってもらいたい」と話していました。

午後には、場所を近くの井草中学校の校庭に変えて、2008年北京オリンピック400mリレー出場の堀籠佳宏さんの陸上競技の指導を受けます。また、明日は様々な障害を持つアスリートとともにトラックを走り、スポーツの可能性を理解してもらう予定になっています。その後、スポーツ職場見学やオリンピックなど、スポーツを総合的に学ぶ講座として、継続していきます。

【問い合わせ先】 教育委員会事務局スポーツ振興課：03-3312-2111